



# 安全宣言

私達、富山河川国道事務所工事安全対策協議会では、常日頃より、労働災害・公衆災害ゼロを目標に、受発注者が連携して工事現場における安全教育・訓練や安全パトロールなどの安全活動に取り組むとともに、現場従事者の一人ひとりが常に緊張感をもって工事の安全施工に取り組んでおります。これらの活動により、富山河川国道事務所管内では、工事事故の発生件数は減少傾向にあるものの、未だ労働災害や公衆災害の撲滅には至っていない状況です。

私達が携わる社会基盤の整備は、住民の安全・安心を確保するとともに、利便性を向上させるなど、豊かな地域づくりのためには不可欠なものです。

一方、建設工事は、屋外における単品生産であることから、個々の工事ごとに特徴があり、その現場環境、周辺環境、気象変化などの特徴を的確に捉え、施工中の確実な安全の確保と生産性の向上を図る必要があります。細心の注意と高い技術力が求められる仕事です。

私達が働くこの地域は、これまでの着実な社会基盤整備に加え、北陸新幹線の開業、昨年の関東・東北豪雨を踏まえた水災害意識社会を再構築する取り組み、能越自動車道や入善黒部バイパスなどの道路整備の推進により、さらに豊かな地域へと発展しようとしています。

私達は、富山河川国道事務所所管の工事を担当する者として、本日の建設労働災害防止大会を契機に、会員相互の連携を密にし、働くもの一人ひとりが豊かな未来の担い手であるという自覚と責任を持ち、更なる安全意識の高揚を図り、無事故無災害で工事完成の日を迎えられるよう、安全管理を徹底する決意であることをここに宣言します。

平成二十八年九月二十八日

富山河川国道事務所 工事安全対策協議会

第二八回富山河川国道事務所建設労働災害防止大会